

## 「九州の未来力2030」第5回会合の概要

1. 開催日時：平成26年11月14日(金) 15時30分～17時30分

2. 開催場所：福岡財務支局 会議室

テーマ：「九州出島化構想」

3. 議事概要

(1) 報告

「福岡財務支局管内の最近の経済情勢等」(福岡財務支局長 長谷川 靖)

(2) プレゼンテーション

「九州出島化構想」(本多機工株式会社 龍造寺代表取締役社長)

<要旨>

地方に拠点を置き、100年企業を目指す中小企業にとっては、人口減少・少子高齢化による労働市場の縮小は深刻な問題であり、強い危機感を持っている。一方、九州の大学のグローバル化の進展により、九州に来る留学生は増加しており、この人材を活用しグローバルな戦略を展開していくことが、唯一の選択であり、九州出島化構想の原点となっている。

「九州出島化構想」とは、九州の優秀な留学生を様々な企業が活用する流れを作り、社内のグローバル化により、九州からアジアに向けて積極的に出ていく、もしくは海外の方を迎え入れることが当たり前という企業づくりに取り組み、九州が日本の他のエリアに先駆けた特別な成功事例になることを願って、長崎の「出島」になぞらえたもので、九州が魅力的な島になることにより、海外から注目され、ビジネスチャンスが広がることを実現させたいとの思いから考えたものである。

構想を実現するためには、優秀な外国人留学生を増やすとともに、外国人留学生とともに学んだグローバルな感覚を持つ日本人学生を増やすことが最低限必要であり、異文化で育った人たちを受け入れる社会、また彼らが活躍できる場を提供できる企業を増やしていくことが重要である。

このような取り組みを具体化し、成功していくことで、九州で学びたい、九州で働きたいという方々が増えていけば九州の未来は拓けていくと思っている。

(3) 意見交換(メンバーからの主な意見。一部、複数人の意見を集約)

- グローバル人材の活用には、受入企業の雇用形態が、グローバルな競争に打ち勝つものとなる必要があるのではないか。
- グローバル化が進み、高度外国人材を活用する社会を目指す一方で、国際競

争に勝てるように日本人を教育していくことも、日本全体を支えていくことになるのではないか。

- 自社の強みを自覚して活動することで、高度外国人材が集まり、組織の中でさらに育成され、母国との良い関係を築き、成果を上げる。そしてそれを見て次の人材が集まってくる。こういった仕組みを持った企業になることが重要ではないか。
- 九州出島化構想の豊富でかつ具体的な提案を一つずつ掘り下げて、妨げとなっている要因を検討していけば、九州は変わるのではないか。
- 九州の企業において、外国人を採用してもすぐにやめるといふ思いが根強く、採用が増えていないと思うが、そのような企業の意識を変えることが必要ではないか。
- 日本に留学して、日本で働きたいという学生と、「ボストン採用」(9月採用)の仕組みなどを取り入れコミットメントしようとする企業が出会う場を作ることが必要ではないか。
- 日本の企業は、新卒一括採用を採っており、入社を希望する学生は海外留学などに行くと就職活動期に間に合わなくなってしまふ。こういう日本の就職形態が、グローバル人材の育成の阻害要因になっているのではないか。
- 高度外国人材の九州定住促進にあたっては、我々が多様な価値観に早くから慣れるためにも、社会全体の国際化は待たなし。高度外国人材が増えれば、日本の学生にも良い影響があるのではないか。
- 社会全体の国際化の観点からみると、インターナショナルスクールの充実など、留学生や大学の教員などの子弟教育の問題も解消する必要があるのではないか。
- 日本で学んだ外国人が、自国に戻って事業を展開するという戦略もすばらしいが、今後は、企業自らが、企業の必要とするスキルを取得させて採用するという事も検討していく必要があるのではないか。
- 学位取得前に一斉に行われる現在の日本の就職活動は、日本人の留学の自由度や留学生の就職の阻害要因になっており、受入企業がすぐにでも見直しに取り組むべきではないか。
- 神奈川県にある株式会社立小学校在職者が作製している、英語が話せない教員でも英語を教えられる教材を、東京都中央区がオリンピックに向けて採用している。こういう他地域の情報を収集して取り組むことも必要ではないか。
- 学生のニーズにあったインターンシップに取り組みたいが、企業側の受入態勢の問題もあり、社会全体で考える必要があるのではないか。
- インターンシップは、ある程度の組織力のある企業しか対応できない一方、学生側も収入がないことから、ワークプレイスメント(就労体験型学生派遣)という形に変え、中小企業の予算にも目を配るといふやり方を、もっと広める必要があるのではないか。

4. 次回会合

日時 : 平成27年2月17日(火)

テーマ : 「女性の感性で新たな市場の拡大を！」(仮称)

以上